

# 令和8年度前期分授業料免除等申請書類送付書

# 家計急変（コロナ）申請用

(入学者) 富山大学受験番号

(在学者) 富山大学学籍番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

授業料免除等申請書類は、この送付書とともに、角形A4号の封筒に入れて提出すること。送付書は右上の欄に学籍番号（入学者は受験番号）を記入し、書類準備後各書類の確認欄に「✓」をすること。

授 業 料 免 除 等 申 請 書 類 の 種 類		依頼先	確認欄
全 員 提 出	授業料免除願	/	
	家庭調書		
	アルバイト・奨学金状況調	アルバイト先	
	令和7年度所得課税証明書 または 非課税証明書（本人分）（コピー不可）	市区役所又は町村役場	
該 当 者 全 員 提 出	日本人学生	令和7年度所得課税証明書 または 非課税証明書（世帯全員分）（コピー不可） 同居、別居を問わず、申請者（学生）と生計を一にする世帯全員のもの。 ※主婦、高齢者、無職者等も必要。就学者の分は不要。 令和6年1月から12月までの収入金額・控除額・税額が明記されているもの （所得がない場合は0円と記載されているもの）	市区役所又は町村役場
	外国人留学生	授業料免除申請にかかる事情説明書	指導教員
		令和7年度所得課税証明書 または 非課税証明書（同居の家族分）（コピー不可）	市区役所又は町村役場
	申請者と同居の家族	・アルバイト状況調（私費外国人留学生家族用） ・源泉徴収票の写（令和7（2025）年分）	アルバイト先
返済不要の奨学金を受給している者	・決定通知書のコピー（返済不要の奨学金の給付月額、期間がわかるもの）	奨学金交付機関等	
給与受給者 （パート・アルバイト含む）	2025年1月1日以前から継続して勤務している場合	・源泉徴収票の写（令和7（2025）年分） ※複数の勤務先がある場合は、すべて提出すること	勤務先等
	2025年1月2日以降に就職した場合	・源泉徴収票の写（令和7（2025）年分） ・給与支払（見込）証明書（家族用）	
	2025年1月1日以降に退職し、無職の場合	・源泉徴収票の写（令和7（2025）年分） ・前職の退職金等に関する申立書 ・退職所得の源泉徴収票（退職金がある場合） ・無職申出書	
	2025年1月1日以降に退職し、転職（再就職）した場合	・源泉徴収票の写（令和7（2025）年分） ※前職と現職の両方 ・給与支払（見込）証明書（家族用） ・前職の退職金等に関する申立書 ・退職所得の源泉徴収票（退職金がある場合）	
年金等受給者	公的年金受給者（国民、厚生、共済、恩給）	・源泉徴収票の写（令和7（2025）年分）又は ・最新振込金額がわかる通知書（写）	日本年金機構等
	遺族・障害年金受給者	・最新の改定通知書又は振込通知書の写	
生活保護費等受給者	・保護決定（変更）通知の写	市区役所又は町村役場	
諸手当・給付金等受給者	児童手当受給者	・受給日、受給者、受給金額がわかる通帳等の写し	/
	児童扶養手当 特別児童扶養手当受給者	・支給通知書又は受給金額がわかる証明書（写） （最新の金額がわかるもの）	
	失業給付金等受給者	・雇用保険受給資格者証の写	市区役所又は町村役場
	育児休業給付金受給者	・支給通知書又は受給金額がわかる証明書（写） （最新の金額がわかるもの）	ハローワーク
	傷病手当金	・傷病手当金振込通知書（受給分すべて）	勤務先等
給与以外の所得受給者 ・事業（営業等、農業） ・利子 ・配当 ・不動産 ・雑所得 ※個人年金、シルバー人材センターからの支給等 ・譲渡所得等	確定申告の申告者	・令和7（2025）年分 確定申告書控の第一表、二表、三表（ある場合のみ）及び添付書類の写（記載内容に別紙のとおりと記載がある場合は別紙も提出）	税務署
	市民税・都道府県民税の申告者	・令和8年度 市民税・都道府県民税申告書の写	市区役所又は町村役場
	臨時所得がある者	・生命・損害保険等の一時金、保険の満期金等の支払日及び金額がわかる書類（支払を受けた金額、支払年月日、払込済み保険料が記載されたもの）	健康保険組合等
	養育費、親戚等からの援助がある者	・申立書（A4サイズ）を作成	/

授業料免除等申請書類の種類			依頼先	確認欄
無職者のいる世帯 (就学者を除く)	15歳以上で無職の者	・無職申出書(原則無職の者本人が記入) ※専業主婦(夫)・予備校生、高齢者含む		
母子・父子世帯	控除の有無に関係なく 母子・父子世帯全員	・母子・父子世帯確認書		
障害者のいる世帯	障害者全員	・障害者手帳の写(障害の級別、氏名の記載した部分)	都道府県等	
長期療養者のいる世帯 (申請時において6ヶ月以上の療養期間が対象。ただし、現在、療養を終えたものは除く)	病気等の療養者、 要介護認定・要支援認定者	・長期療養者にかかる控除申請書 ※提出が無い場合、控除しません。		
		医療機関等への支払 ・6ヶ月以上の療養が確認できる医師の診断書(コピー不可) ・最近6ヶ月分の医療費の領収書の写	病院等	
	介護サービス等の事業提供者等への支払 ・介護サービス計画(ケアプラン)の写 ・最近6ヶ月分の介護サービスに経常的に支出した自己負担額の領収書の写(食事代、雑費等を除く)	介護支援事業者等 介護サービスの事業提供者等		
	高額療養費、保険等の補填がある者	高額療養費、保険などで補填された金額がわかる書類	市区町村等	
主たる家計支持者が別居している世帯	別居による特別な支出がある者	・主たる家計支持者別居にかかる控除申請書 ※提出が無い場合、控除しません。		
		・最近6ヶ月分の住居費、光熱水費等の領収書の写 ・家計支持者の住民票 マイナンバーの記載のないもの ・勤務先の辞令(写)等 別居を強いられている理由のわかる書類	都道府県等 その他保管中のもの	
風水害等により被災した世帯	該当者全員	・り災(被災)証明書	市区町村・消防署	
	被害額	・領収書、請求書等	業者等	
	保険等で補填	・支払証明書	保険会社等	
	確定申告の申告者	・確定申告書A又はBのそれぞれ第一表と第二表の控の写	税務署申告書類の写	

令和8年度における在学・在籍の証明が必要なため、4月15日(水)までに提出する書類

該当者のみ提出	高校生以上の就学者がいる場合 ※専修学校生を含む ※申請者(本人)分は不要	国立学校在学者	・在学状況等証明書 発行日が4月1日以降の証明書を提出すること	所属の国立学校
		公・私立学校在学者	・在学証明書【所属の公・私立学校指定の様式】 発行日が4月1日以降の証明書を提出すること	所属の公・私立学校
	4月に就職する者	・給与支払(見込)証明書(家族用)【本学の様式】		勤務先
	兄弟姉妹等で令和8年1月以降に別居独立した人がある場合	・健康保険証(両面の写) ・住民票(コピー不可) ※家族と別の住所であることが確認できること	最新のもの 市区役所又は町村役場	

※上記以外にも必要に応じて、書類の提出を求める場合があります。

授業料の口座振替手続状況 ※該当する□に✓をつけること。

【在学者】 □ 既に授業料の預金口座振替依頼書(大学提出用)を大学に提出済みである。

□ 金融機関での手続きを完了し、今回、授業料の預金口座振替依頼書(大学提出用)を申請書類に同封する。

【入学者】 □ 金融機関での手続きを完了し、新入生オリエンテーションで授業料の預金口座振替依頼書(大学提出用)を提出する。

(3号様式)

令和 8 年 4 月 1 日

# 富 山 大 学 長 殿

本	令和		年		月入学				
	学 部		研究科		学 科				
	学 環		教育部		専 攻 プログラム				
人	学籍番号								
	住所(〒		-		)				
	(下宿等)								
学 資 負 担 者	フリガナ 氏名 (自署)								
	住所(〒		-		)				
	フリガナ 氏名 (自署)								
本人との続柄									

## 授 業 料 免 除 願

下記により令和8年度前期分授業料の免除を受けたいので、  
学資負担者連署の上お願いします。

記

I 金 円也

II 理 由 ( 具体的かつ詳細に記入すること )

# 授業料免除願の記入例

令和 8 年 4 月 1 日

富 山 大 学 長 殿

本	令和 8 年 4 月入学							
	理工学	学部 研究科		理工学	学 科 専 攻			プログラム
人	学籍番号 2 2 5 C ○ ○ ○ ○							
	住所(〒 930 - 0887 ) (下宿等) 富山市五福1区○-○-○ 富山ハイツ○号							
	フリガナ 氏名 タテヤマ イロウ (自署) 立山 一郎							
	住所(〒 ○○○ - △△△△ ) 石川県金沢市○○町○丁目○番○号							
学 資 負 担 者	フリガナ 氏名 タテヤマ タロウ (自署) 立山 太郎							
	本人との続柄 父							

学生本人・学資負担者がそれぞれ記入すること。  
氏名欄は必ず各自が自署すること。

以下に該当する者は、氏名欄に自分の名前を記入し、続柄を「本人」とすること。  
・私費外国人留学生  
・独立生計者として申請する者

## 授 業 料 免 除 願

下記により令和8年度後期分授業料の免除を受けたいので、  
学資負担者連署の上お願いします。

記

I 金 267,900 円也

II 理 由 (具体的かつ詳細に記入すること)

授業料免除を申請するに至った家庭事情や説明を記入。  
(100文字以上、200文字以内)

授業料免除願は学生本人からの提出書類です。学資負担者の立場  
で記入してある場合は受理せず、提出書類を返却します。

※白紙の場合は書類不備とします。

学生本人が  
記入すること。

# 家庭調書

2026年4月1日現在

※申請者（学生）本人が家計の状況をよく理解した上で、太枠の中を記入すること。

① 所属	学部 研究科 / 学環 教育部	学科(課程) 専攻 プログラム	学籍番号																	
フリガナ																				
② 氏名																				
③ 住所等	本人住所等 〒 ( ) ( ) ( ) TEL ( ) ( ) ( ) e-mail ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )	学資負担者 連絡先 〒 ( ) ( ) ( ) TEL ( ) ( ) ( )	過去の授業料免除状況																	
			項目	免除結果等																
			R7年度前期	給・免・不調・/3・申請																
			R7年度後期	給・免・不調・/3・申請																

大学認定(記入)欄	
世帯人員	人
独立生計者	有・無
生活保護世帯	有・無
非課税世帯	有・無
ひとり親	有・無
多子世帯	有・無
Jasso給付	有・無
区分	I・II・III・外・旧

## 所得に関する事項

④ 本人	続柄	氏名	年齢	職業	勤務先等	所得種別	就職年月月 (該当欄に○を記入)		給与収入 年金・生活保護費・ 諸手当を含む (年 額) 千円	給与以外の所得 (年 額) 千円	給与収入 (年 額) 千円	給与以外の所得 (年 額) 千円
							R7.1.1 以前	R7.1.2 以降				
				富山大学 第 学年	( )奨学金	給与奨学金	—	—	—			
⑤ 家族及び所得	⑥ 父											
	⑥ 母											

⑦ 別居者に印	続柄	氏名	年齢	在 学 校 名	学年	通学区分	国立学校就学者のみ記入		授業料 (年額) 千円	勤務先名	給与収入 (年 額) 千円	給与以外の所得 (年 額) 千円	就学者 控 除
							前年度免除結果 前期	後期					
				国立 公立 私立		自 宅 自 宅外	なし /3 半免 全免	なし /3 半免 全免					
				国立 公立 私立		自 宅 自 宅外	なし /3 半免 全免	なし /3 半免 全免					
				国立 公立 私立		自 宅 自 宅外	なし /3 半免 全免	なし /3 半免 全免					
				国立 公立 私立		自 宅 自 宅外	なし /3 半免 全免	なし /3 半免 全免					

大学認定(記入)欄

⑧ 臨時所得	氏名( ) 本人との続柄( ) 支払金額( ) 千円 退職金・保険金・その他( ) 支払年月日 年 月 日	算入する 算入しない
⑨ 生活保護世帯	生活保護費支給証に記載の被保護者氏名( ) 世帯人員( ) 名 支給額(支給月額 円×12=年額支給額 千円)	千円
⑩ 主たる家計支持者無職・失業	無職・失業の年月 年 月 日 無職・失業の理由( ) 生活費の出所( )	

## 特別控除に関する事項

⑪ 母子・父子世帯	<input type="checkbox"/> 生 別(平成・令和 年 月) <input type="checkbox"/> 死 別(平成・令和 年 月)(該当する□に✓をつけること。)	該当・非該当
⑫ 障害者	氏名( ) 本人との続柄( ) <input type="checkbox"/> 心身障害 <input type="checkbox"/> 原爆被爆 氏名( ) 本人との続柄( ) <input type="checkbox"/> 心身障害 <input type="checkbox"/> 原爆被爆	人
⑬ 長期療養者	氏名( ) 本人との続柄( ) 療養期間( 年 月~) 療養費 千円 氏名( ) 本人との続柄( ) 療養期間( 年 月~) 療養費 千円	千円
⑭ 家計支持者別居	単身赴任等期間( 年 月~) 特別に支出している経費 千円	千円
⑮ 風水害等の災害	災害の内容( 年 月被災) 被害額 千円	千円

この書類は申請者全員が提出しなければなりません。

## アルバイト・奨学金状況調

学部・研究科・教育部名	学年	学 籍 番 号					
学 部 研究科/学環 教育部							

令和 年 月 日

学生氏名 \_\_\_\_\_

該当する□に✓をつけること。

## 1. アルバイト

アルバイトの状況
<input type="checkbox"/> アルバイトをしている
<input type="checkbox"/> 2025年1月1日以前に開始→2025（令和7）年分給与所得の源泉徴収票(コピー)を添付すること。
<input type="checkbox"/> 2025年1月2日以降に開始→以下にアルバイト先で証明を受けること。
<input type="checkbox"/> 富山大学でTAまたはRAを実施している→アルバイト先の証明は不要。
<input type="checkbox"/> アルバイトをしていない

※アルバイト先の証明（複数箇所のアルバイト先で証明を受ける場合は、この用紙をコピーすること。）

期間 始期	年 月～
支給平均月額 (最近3ヶ月の平均月額)	円×12ヶ月＝年間支給(見込)額 円
アルバイトの期間及び金額について証明します。	
住所	令和 年 月 日
社名	証明担当者 (印)
TEL ( )	—

## 2. 2025 年4月以降における奨学金の状況（貸与・給与を問わず、すべての奨学金について記入。）

<input type="checkbox"/> 奨学金を受給している	区分	奨学金の名称	金額(1ヶ月)	始 期	終 期
返済しなくてもよい奨学金のみ裏面に受給額のわかる通知等を添付し、年額を家庭調書に記入。	<input type="checkbox"/> 貸与 <input type="checkbox"/> 給与		円	年 月	年 月
	<input type="checkbox"/> 貸与 <input type="checkbox"/> 給与		円	年 月	年 月
	<input type="checkbox"/> 貸与 <input type="checkbox"/> 給与		円	年 月	年 月
	(留学生のみ記入) 富山県国際交流・学習奨励費		円	年 月	年 月
<input type="checkbox"/> 奨学金を申請中			円	年 月	年 月
<input type="checkbox"/> 奨学金を現在受給も申請もしていない（理由 _____）					

## 3. 本人の1ヶ月分の生活費(見込み) 必ず記入すること。

収 入		支 出	
家庭からの給付・送金	円	食 費	円
預貯金等の取り崩し	円	住居費	円
アルバイト	円	交通費	円
奨学金 ( )	円	学用品	円
奨学金 ( )	円	書籍代	円
その他 ( )	円	その他 ( )	円
合 計	円	合 計	円

※収入合計と支出合計は金額が一致するよう記入。自宅通学の場合も記入必要。

# 家庭調書の記入例

## 家庭調書

私費外国人留学生は、  
本国在住の家族等につ  
いては**記入不要**

※申請者（学生）本人が家計の状況をよく理解した上で、  
太枠の中を記入すること。

① 所属	学部 研究科 / 学環 教育部	学科 専攻 プログラム	学籍番号
フリガナ	通学区分 自宅・自宅外		
② 氏名	令和8年4月時点の現住所を記入 ※転居した場合は申し出ること		
③ 住所等	〒 ( ) - ( ) - ( )	連絡先 資力担者 TEL ( ) - ( ) - ( )	過去の授業料免除状況 項目 免除結果等 ○年度前期 姓・姓・姓・姓・姓・姓 ○年度後期 姓・姓・姓・姓・姓・姓

大学認定(記入)欄	
世帯人員	人
独立生計者	有・無
生活保護世帯	有・無
非課税世帯	有・無
ひとり親	有・無
多子世帯	有・無
Jasso給付	有・無
区分	I・II・III・外・旧

### 所得に関する事項

続柄	氏名	年齢	職業	所得種別	就 職 年 月 (該当欄に○を記入) ○1.1以前 ○1.2以降	給与収入 (年額) (千円)	給与以外の所得 (年額) (千円)	給与収入 (年額) (千円)	給与以外の所得 (年額) (千円)
④ 本人	立山 一郎	22	国立大学 第1学年	給与奨学金	○	456	360		
⑥ 父	立山 太郎	50	自営業	営業	○	1,484			
⑤ 母	立山 花子	50	パート		○	1,000			
祖母	立山 春子	80	無職	老齢基礎厚生年金		1,760			
× 妹	立山 ナツ	18	会社員						

参考資料や送付書を参照

続柄	氏名	年齢	在 学 校 名	学年	通学区分	国立学校就学者のみ記入		申請者の配偶者に所得がある場合のみ記入		就学者 控 除
						前年度免除結果 前期 後期	授業料 (年額) 千円	勤務先名	給与収入 (年額) (千円)	
⑦ 弟	立山 二郎	19	国立公立私立 ○○大学	2	自宅 自宅外	なし /3 半免 全免	535			

⑧ 臨時所得	氏名 (立山 春子) 本人との続柄 (祖母) 支払金額 (1,000 千円)	算入する 算入しない
⑨ 生活保護世帯	生活保護費支給証に記載の被保護者氏名 ( ) 世帯人員 ( 名 )	
⑩ 主たる家計支持者無職・失業	無職・失業の年月 ( 年 月 日 ) 無職・失業の理由 ( )	

### 特別控除に関する事項

⑪ 母子・父子世帯	□生別(平成・令和 年 月) □死別(平成・令和 年 月)(該当する□に✓をつけること。)	該当・非該当
⑫ 障害者	氏名( ) 本人との続柄( ) □心身障害 □原爆被爆	人
⑬ 長期療養者	氏名( ) 本人との続柄( ) 療養期間( 年 月~ ) 療養費 千円	千円
⑭ 家計支持者別居	単身赴任等期間( 年 月~ ) 特別に支出している経費 千円	千円
⑮ 風水害等の災害	災害の内容( ) 年 月被災) 被害額 千円	千円

○給与収入・給与以外の所得の記入要領

「給与収入」欄に記入する金額（千円未満切捨）	
給与収入	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和7年1月1日以前から継続して勤務している場合 →源泉徴収票の「支払金額」</li> <li>令和7年1月2日以降に就職・転職（再就職）した場合 →学生支援課が給与支払（見込）証明書（家族用）を確認し、記入します。</li> <li>令和7年1月1日以降に退職し、無職の場合 →勤務先欄、給与金額とも記入不要</li> </ul>
年金等	<ul style="list-style-type: none"> <li>源泉徴収票の「支払金額」もしくは最新の振込通知書に記載の年額</li> </ul>
生活保護	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護決定（変更）通知の額×12（年額を算出）</li> </ul>
諸手当	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童手当→最新の手当額×12（年額を算出）</li> <li>児童扶養手当、特別児童扶養手当 →最新の手当額×12（年額を算出）</li> <li>失業給付金→基本手当日額×所定給付日数</li> <li>傷病手当金→受給分合計額</li> </ul>
「給与以外の所得」欄に記入する金額（千円未満切捨）	
給与以外の所得	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和7年分確定申告書控の第1表のそれぞれの「所得金額」</li> <li>令和8年度市民税・都道府県民税申告書のそれぞれの「所得金額」</li> </ul>
所得	<ul style="list-style-type: none"> <li>退職金</li> <li>保険の一時金</li> <li>養育費の年額</li> <li>親戚等からの援助の年額</li> </ul>

・家庭調書に全員を記入  
 ・4月1日時点で「別生計」になる者は、健康保険証（写）と住民票を提出  
 ※別生計とは、自分で生計を立て、扶養にも入っておらず、かつ自宅と別の住所に住んでいること。

・令和7年1月2日以降就職の場合は、給与支払（見込）証明書を提出  
 ・退職の場合は、退職金等に関する申立書を提出

令和7年分源泉徴収票の例

令和7年分 給与所得の源泉徴収票

石川県金沢市〇〇町〇丁目〇番〇号

給与・賞与 3,000,000

令和7年1月1日～令和7年12月31日

石川県金沢市〇〇町〇丁目〇番〇号

（株）〇〇〇

令和6年分 公的年金等の源泉徴収票

住所または居所 氏名 生年月日

区分	支払金額	源泉徴収税額
法203条の3第1号適用分	円	円
法203条の3第2号適用分	円	円
法203条の3第3号適用分	円	円
法203条の3第4号適用分	1,000,000	円

年金の種類 本人 控除対象配偶者の有無等

特別障害者	その他障害者	特別寡婦	寡婦寡夫	有	無	老人控除対象配偶者の有無
						有 無

控除対象扶養親族の数 本人以外の障害者の数 社会保険料の金額

特定	老人	その他	特別	その他	円
人	人	人	人	人	

「家庭調書」(抜粋)

⑤家族及び所得

職業	勤務先等	所得種別	就職年月 (該当欄に○を記入)		給与収入 年金・生活保護費 諸手当含む (年額)	給与以外の所得 (年額)
			R6.1.1以前	R6.1.2以降		
会社員	(株)〇〇〇 〇〇〇年金	給与 年金	○		3000千円 1000	←千円

# アルバイト・奨学金状況調の記入例

この書類は申請者全員が提出しなければなりません。

## アルバイト・奨学金状況調

記入日

令和 年 月 日

所 属	学 年	学 籍 番 号			
学部 研究科 / 学環 教育部					

学生氏名 \_\_\_\_\_

該当する□に✓をつけること。

### 1. アルバイト

アルバイトの状況

アルバイトをしている 記入日現在で継続している場合記入。

2025年1月1日以前に開始→2025（令和7）年分給与所得の源泉徴収票(写)を添付すること。

2025年1月2日以降に開始→以下にアルバイト先で証明を受けること。

富山大学でTAまたはRAを実施している →アルバイト先の証明は不要。

アルバイトをしていない

※アルバイト先の証明（複数箇所のアルバイト先で証明を受ける場合は、この用紙をコピーすること。）

期間 始期 2025 年 5 月～

支給平均月額 (最近3ヶ月の平均月額) **38,000円** × 12ヶ月 = 年間支給（見込）額 **456,000円**

この年額を家庭調書の「給与収入」欄に記入。

アルバイトの期間及び金額について証明します。 ○○年 ○月 ○日

住所 富山県富山市○○町○○○○

社名 (株)○○○○ 証明担当者 ○○○○ (印)

TEL (○○○)○○○-○○○○ **必ず証明印をもらう。**

### 2. 2025年4月以降における奨学金の状況（貸与・給与を問わず、すべての奨学金について記入。）

<input checked="" type="checkbox"/> 奨学金を受給している	区分	奨学金の名称	金額(1ヶ月)	始 期	終 期
返済しなくてもよい奨学金のみ裏面に受給額のわかる通知等を添付し、年額を家庭調書に記入。	<input checked="" type="checkbox"/> 貸与 <input type="checkbox"/> 給与	独立行政法人 日本学生支援機構	51,000円	2025年4月	2027年3月
	<input type="checkbox"/> 貸与 <input type="checkbox"/> 給与		円	年 月	年 月
	<input type="checkbox"/> 貸与 <input checked="" type="checkbox"/> 給与	○○財団 (留学生のみ記入) 富山県国際交流 ・ 学習奨励費	30,000円	2025年4月	2027年3月
<input type="checkbox"/> 奨学金を申請中			円	年 月	年 月
<input type="checkbox"/> 奨学金を現在受給も申請もしていない（理由 _____）					

### 3. 本人の1ヶ月分の生活費(見込み) 必ず記入すること。

収 入		支 出	
家庭からの給付・送金	30,000円	食 費	45,000円
預貯金等の取り崩し	円	住居費	52,000円
アルバイト	38,000円	交通費	1,000円
奨学金（日本学生支援機構）	51,000円	学用品	5,000円
奨学金（○○財団）	30,000円	書籍代	2,000円
その他（ _____ ）	円	その他（医療費 等 _____）	44,000円
合 計	149,000円	合 計	149,000円

※収入合計と支出合計は金額が一致するよう記入。自宅通学の場合も記入必要。